



国際ロータリー第2840地区
沼田中央ロータリークラブ
NUMATA CHUO ROTARY CLUB

2025-2026

No.1812

2025.12.4

会長：茂木清七 幹事：小澤博之
会員数：50(内3名特別会員) 会場出席：28 欠席：22
出席率：59.57% 前回出席率：100%
点鐘：茂木清七 会長 司会：本山佳宏 副S A A
国歌斎唱
ロータリーソング：沼田中央ロータリーの歌（ソングリーダー：武井順一）
例会場：ホテルベラヴィータ 3F 12:30～

よいことのために
手を取りあおう

ロータリーを語ろう

来訪ロータリアン

沼田ロータリークラブ

深津卓也 会長エレクト・須田千秋 副幹事

会長の時間

茂木清七 会長



皆さん、こんにちは。

本日は沼田市の学校統廃合について、少しお話させて頂きます。沼田市も少子化に伴い、学校の統廃合が進められています。

先ず、白沢小学校と多那小学校、白沢中学校と多那中学校が、来年の令和8年より統合されます。令和9年には池田小学校・中学校が、薄根小学校・中学校に統合となります。沼田東中学校も令和9年度に沼田中学校に統合され、利南東小学校が現在の沼田東中学校に移転します。沼田東小学校と沼田北小学校は令和10年度に統合される予定です。最後に、沼田中学校・沼田南中学校・沼田西中学校が統合される予定になっています。

校舎もかなり古く老朽化しています。沼田西中学校が最も古く、建設から59年が経過しています。経費もかなり掛かり、小学校費が1億7,800万円、中学校費が1億3,300万円となっています。統廃合する事により経費の削減にもつながります。財政が厳しい中、子どもたちがより良い環境で学べるよう検討しているところです。中学校的制服なども、沼田市全体で統一する方向で検討しています。お下がりやリユースなども出来るよう配慮しての事かと思います。

2050年には沼田市の人口も3万人を切ってしまう予想となっています。少しでも人口減少が緩やかになっていくよう、皆さんで検討していかなければと思います。人口減少と同じく、私たちロータリアンの人数も減っていくと思われますが、できる限り沼田中央RCは50人を維持できればありがたいと思います。今年度、生方パストガバナーや高橋和朗委員長には多くの会員推薦を頂きました。会員皆様からも入会推薦を頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

以上で会長の時間とさせて頂きます。

幹事報告

小澤博之 幹事



- ①12月11日はクリスマス家族会で夜間例会となります。
- ②同日、午前10時から大根収穫体験教室が開催されます。めぐみこども園とちぐさこども園が参加します。
- ③前回の例会で推薦された3名について、異議申し立てがありませんでしたので入会に向けて手続きを進めさせて頂きます。
- ④本日例会終了後に理事会を開催します。



11月26日に行われた沼田市社会福祉大会にて、感謝状が授与されました。

地区より委嘱状の伝達



1月24日に行われる「2026学年度米山記念奨学生選考会」の面接委員として、地区米山記念奨学委員の古池好幸会員が任命されました。

スマイルBOX報告

関 美津男 委員長

沼田RC 深津卓也会長エレクト・須田千秋副幹事

本日は温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録へ向けて、お話をさせて頂く機会に心より感謝申し上げます。又、先日はIMにて大変お世話になりました。

茂木 清七・小澤 博之

本日は沼田RC会長エレクトの深津さんの卓話、ありがとうございます。又、須田副幹事ようこそ沼田中央RCにお越し頂きました。しっかり勉強させて頂きます。私(茂木)は議会のため早退させて頂きます。

生方 彰

沼田RCより、深津様・須田様のご来訪に感謝申し上げます。

北野 浩司郎

今日の峠の釜飯は、パストガバナー生方彰君に高崎まで取りに行って頂きました。感謝感謝です。

宮田 美行

沼田RCの深津卓也会長エレクト、須田千秋次年度幹事のご来訪を歓迎して。

本山 佳宏・原澤 ふじ子

①沼田RCの深津会長エレクトと須田副幹事の来訪を記念して。

②先日は、初めての明治大学マンドリン倶楽部の演奏会、楽しかったです。

石坂 一男

深津様・須田様、ようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしています。来年度は宜しくお願い致します。

齋藤 豊

沼田RC深津卓也会長エレクト、須田次年度幹事のご来訪ありがとうございます。本日は卓話宜しくお願い致します。



本日のランチ

年末調整に関わる税制変更について 武井正男 会員



奉仕プロジェクト委員会より

齋藤 豊 委員長



12月11日の大根収穫体験教室の案内と、ユネスコの書き損じハガキキャンペーンへの協力依頼がありました。

本日の卓話



上牧温泉辰巳館4代目 深津卓也様 (沼田RC)

『温泉文化 ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みについて』

日本の温泉文化の2030年ユネスコ無形文化遺産登録を目指して活動を行っています。日本の肩まで浸かる温泉と海外のスパでは入浴の仕方も違います。以前は海外からの旅行客のほとんどが部屋の温泉や貸し切り露天風呂を利用していましたが、最近では一般の大浴場を利用する人も増えてきました。それだけ温泉文化が海外の人にも浸透してきたのでしょうか。

温泉にとって大切なものは、①水、②森林、③熱源です。群馬県にはそれが備わっています。また、温泉マークは磯部温泉から、茶色の温泉饅頭は伊香保温泉から広まったそうです。群馬県はそれだけ温泉と縁の深い地域です。これからもユネスコ無形文化遺産登録に向けた活動を推進して行きたいと思います。

